

授業科目 公衆衛生学特論	科目概要・形式 2 単位 30 時間	配当年次 1 年 前期
科目責任者	大西基喜	
担当者	大久保 一郎、大西 基喜	
<b>1. 科目のねらい・目標</b> 日本の保健医療制度の特徴、最近の保健医療行政の課題、および地域診断の考え方や活用について学び、地域で生活している人々を地域の文化や経済を含めて集団として捉え、疾病の予防、健康増進、健康づくりを目指す公衆衛生活動・ヘルスプロモーション活動について理解する。		
<b>2. 授業計画・内容</b> (大久保一郎) (10 コマ) 1 日本の保健医療制度の特徴 2 最近の保健医療行政の課題 3 がん検診の評価 4 QOLの測定法 5 医療経済学の基礎的な考え方 6 公衆衛生と医療経済  (大西基喜) (5 コマ) 1 ヒトの健康・疾病の歴史と公衆衛生の発展 2 保健衛生統計からみた健康状況の理解 3 本県の保健医療行政の現状と課題		
<b>3. 教科書、参考書</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働統計協会：国民衛生の動向。(必携)</li> <li>・柳川洋他編；地域保健活動のための疫学、第2版、日本公衆衛生協会、2006。 ISBN 4-260-00171-X</li> <li>・厚生労働省：厚生労働白書</li> <li>・厚生労働統計協会；福祉と年金の動向 他適宜お知らせします。</li> </ul>		
<b>4. 成績評価方法</b> 出席状況やレポートなどにより総合的に評価します。		
<b>5. 受講要件</b> 特にありません。		
<b>6. 社会人学生に対する配慮</b> 土・日曜日主体の開講		
<b>7. その他</b>		